



和小だより

弟子屈町立和琴小学校

4月30日 発行者 校長 渥美清孝

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)

そのままにしておかないこと

校長 渥美清孝

保護者・地域の皆様のご理解、ご支援により、始業式、入学式、参観日など、例年通りの4月の行事を終え、今年度の和琴小学校の教育活動が始まりました。心から感謝申し上げます。

朝晩の冷え込みも少しずつ緩み、春の確実な訪れを感じます。公宅から学校までの道すがら、野鳥の声を聞きながらの出勤も、心躍る季節です。耳を澄まして歩いていると、野鳥の声は、多い時で4種類ほどにもなります。これも豊かな自然の恵みですね。

さて、4月の子どもたちの様子を見てみると、1年生になったこと、ひとつ学年が上がったことに喜びを感じながら学校生活を送っているように見えます。はきはきとした挨拶や素直な返事に、今が成長のその時なのだという子どもたちの心の声を聞くようなのです。節目の時期ですから、子どもたちの意識も高く、前向きな気持ちが挨拶や返事に表れているのでしょう。

私たちは、この機会を逃さないようにしたいものです。

啐啄同時という言葉があります。鶏の雛が卵から生まれ出ようとするとき、殻の中から卵の殻をつついて音をたてます。これを「啐」といいます。そのとき、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破ります。これを「啄」といいます。そしてこの「啐」と「啄」が同時であってはじめて、殻が破れて雛が産まれるわけです。

これは鶏の雛が卵から孵(かえ)ることに限らず、教師と子ども、親と子の関係においても学ぶべきところのある大切な事実です。

すなわち、子どもの伸びようとする姿をしっかりとりえ、それと同時に子どもの伸びるための豊かな関わりを意図的に行うことが教育の営みなのです。

教育とは、そのままにしておかないことです。

よいところはさらに伸ばし、課題のあるところは少しでも改善していくよう、子どもの力を高めていくことです。

このような考え方をたいせつにして、今年1年の和琴小学校の教育実践を紡いでいきます。

よろしく願いいたします。

< 5月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	土	週休日		×
2	日	週休日		×
3	月	祝日 憲法記念日		×
4	火	祝日 みどりの日		×
5	水	祝日 こどもの日		×
6	木	安全点検日	14:20 15:20	○
7	金		14:20 15:20	○
8	土	週休日		×
9	日	週休日		×
10	月		14:20 15:20	○
11	火	ALT	14:20 15:20	○
12	水	全校朝会	14:20	○
13	木	避難訓練 (地震)	14:20 15:20	○
14	金	町P連総会	14:20 15:20	○
15	土	週休日		×
16	日	週休日		×
17	月		14:20 15:20	○
18	火	ALT	14:20 15:20	○
19	水		14:20 15:20	○
20	木	交通安全教室 クラブ	14:20 15:20	○
21	金	ALT 集合学習	13:00	○
22	土	週休日		×
23	日	週休日 少年の主張弟子屈大会		×
24	月		14:20 15:20	○
25	火	ALT 避難訓練予備日	14:20 15:20	○
26	水	全校朝会	14:20	○
27	木	全国学力・学習状況調査	14:20 15:20	○
28	金	教育大新入生研修 クラブ	14:20 15:20	○
29	土	週休日		×
30	日	週休日		×
31	月		14:20 15:20	○

※昨今の状況から予定が変更になる可能性があります。ご了承ください。

4月の和っ子

<転入職員の紹介です>

校長 渥美 清孝（浜中町教育委員会より）

◇この度、浜中町教育委員会から、4月の人事異動で、校長として着任しました。挨拶や返事が素晴らしい和琴小学校の子どもたちの笑顔に感動しながら、毎日を過ごしています。子どもたちが、学校での生活を楽しく過ごし、自分のもっているよさや可能性を思い切り伸ばしていけるよう、先生方、職員のみなさんと力を合わせていきます。そして、家庭・地域・学校が一体となって子育てをする和琴小学校の伝統を引き継いで参ります。ご家庭・地域の皆様におかれましては、今後も変わらぬ、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

教諭 斎藤 鉄也（厚岸町立太田小学校より）

◇教職25年目で、最も小さな規模の学校での勤務となります。小規模校ならではの、とても濃く温かいつながりの中で、毎日、楽しく過ごすことができます。学校での様々な活動の進め方など、分からないことはたくさんありますが、子どもたちが親切に教えてくれたり、先に活動を進めておいてくれたり、やる気いっぱいの子どもたちにたくさん助けてもらっています。和琴の魅力、和琴小の魅力について、家庭・地域の方にも教えていただきながら、楽しい学びを豊かにつくっていきたく、わくわくしています。

養護教諭 大下 紀恵（弟子屈中学校より）

◇4月から和琴小学校で養護教諭として勤務することになりました大下紀恵です。新学期がスタートしたばかりですが、礼儀正しく、思いやりがあり、よく働く子ども達の姿に感心したり、休み時間には明るく元気に走り回る様子に癒やされたりしています。まだまだ、学校の事や地域の事など分からないこともありますが、子ども達とともに楽しみながら、学んで行ければと思っています。色々、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願い致します。

事務職員 榊 伸子（奥春別小学校より）

◇4月より奥春別小学校から異動して参りました。休み時間にはのびのびと元気よく遊び、しっかりとあいさつができる礼儀正しさがあり、子どもたちの良さを日々見せてもらい感心するばかりです。これからどんな1年を過ごしていくのだろうととても楽しみになりました。事務職員としては経験が浅く、地域の皆様に助けて頂く機会が多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど頂ければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

<入学式が行われました>

4月7日（水）に3区の大内蒼馬くん（1名）が入学しました。少し緊張した様子でしたが姿勢良く式に臨み、担任の先生から名前を呼ばれると元気よく返事をしていました。式中に入学児童の妹さんから「いにい、おめでとう。」の声も聞かれ、家族、在校生の保護者、在校生みんなの入学を祝う気持ちですが、その一言につながったのではと感じました。また、今年度は児童会長が歓迎の言葉を話したり、教育委員さんから直接記念品を手渡していただいたりすることができました。コロナ対応の式ではありましたが、みんなの心がこもった温かい入学式になりました。



<1年生を迎える会>

4月17日（土）に1年生を迎える会を行いました。この会に向けて、在校生の新4～6年生が中心となって準備をしました。児童会長のあいさつに始まり、在校生から1年生への手作りプレゼント、そしてゲームという流れで行いました。ゲームの線鬼（せんおに）は、児童、先生、参観した保護者も入ってとても盛り上がりしました。



ホームページで和琴小の取り組みを配信中

今年も和琴小での子どもたちの活動や行事などの取り組みを随時更新し、配信していきます。地域の方など多くの方々に見ただけいたらありがたいです。



和琴小ホームページ <http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>

